

# 見直しませんか、わが家の防災対策

～ 第七回 家屋の耐震とブロック塀の点検・補強 ～

愛岐ケ丘自治会  
愛岐ケ丘防災士会

巨大地震の被害で真っ先に思い浮かぶものに、家屋やブロック塀などの倒壊があります。巨大地震で倒壊した家々をテレビ報道などで幾度となく見てきましたが、決して他人事ではありません。愛岐ケ丘では建て替えや新築などの家屋も次第に増えてきましたが、旧耐震基準の昭和56年5月31日以前に着工された家屋も多く(今年のアンケートでは、半数近くの家屋が該当)、耐震診断や耐震補強を考えたいという方もお見えではないでしょうか。



出典：財団法人消防科学  
総合センターHP

今回は、木造住宅の耐震診断や耐震補強工事に対する可児市の助成制度とブロック塀の点検・補強についてご紹介したいと思います。ご自宅の耐震について見直される方は、これらも参考されては如何でしょうか。

家屋などの耐震化は、地震に強い、安全・安心な街づくりの第一歩です。

## 家屋の耐震診断・耐震補強

可児市には、市民が行う家屋の耐震診断や耐震補強工事に対する費用の助成制度があります(令和3年度時点。令和4年度は別途ご確認ください)。

### 可児市木造住宅耐震診断事業(\*)

耐震診断の他、耐震診断計算結果の説明や改修の概算工事費等についての助言も受けられます。費用は無料です。

次のような木造住宅が対象です(要件は他にもあります)。

- 昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅
- 一戸建ての住宅
- 木造軸組構法、伝統的構法又は桝組壁工法で建てられている住宅(愛岐ケ丘は、ほぼ全てこれらの工法です。)



可児市ホームページ  
(掲載時点をご確認  
下さい。)

### 可児市木造住宅耐震改修工事(\*)

耐震補強の費用の一部を、可児市と岐阜県、国が補助するものです。補助金には限度額(110万円又は84万円)があります。

次のような木造住宅が対象です(要件は他にもあります)。

- 昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅
- 木造住宅の所有者等が実施する耐震改修工事
- 木造住宅耐震診断結果で評点が1.0未満と診断された住宅の改修工事で、設計監理は岐阜県木造住宅耐震相談士によること



可児市建築指導課  
パンフレット

#### 一口メモ

(\*)これらの助成制度には市の予算の制約がある他、上記の要件以外にも細かな決まり事があります。詳しくは可児市建築指導課までお問い合わせ下さい。☎ 0574-62-1111(可児市役所代表)

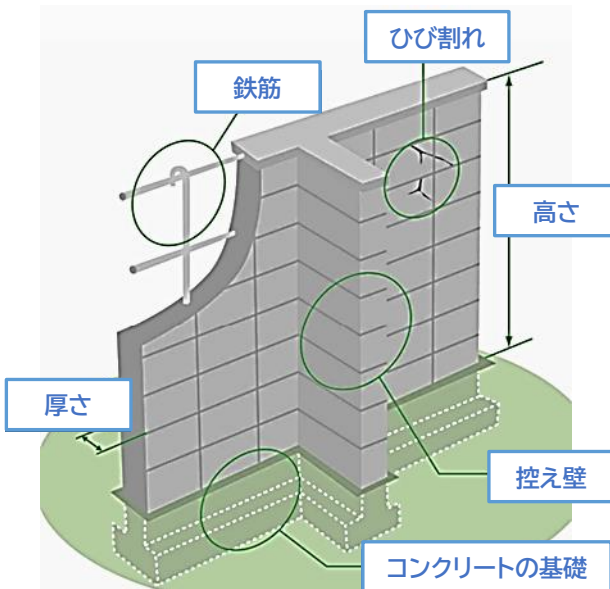
## ブロック塀の点検・補強

ブロック塀の倒壊も心配ですね。倒壊によって道路が塞がれると、安全な通行や避難、救助活動などの妨げになるといった様々な影響が出て来ます。

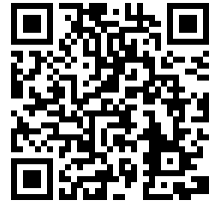
以下は、点検のポイントと満たすべき基準の要点です。よく分からない方、ご心配な方は可児市の建築指導課にご相談されては如何でしょうか。

### 点検のポイントと満たすべき基準

- ① 高過ぎませんか
  - ・鉄筋が入っていないブロック塀……………1.2m以下の高さ
  - ・鉄筋が入っているブロック塀……………2.2m以下の高さ
- ② 厚さは十分ありますか
  - ・高さが2m以下のブロック塀……………10cm以上の厚さ
  - ・高さが2m超～2.2mのブロック塀……………15cm以上の厚さ
- ③ 控え壁がありますか
  - ・高さが1.2m以下のブロック塀……………4m以下の間隔で控え壁
  - ・高さが1.2m超～2.2mのブロック塀……………3.4m以下の間隔で控え壁
- ④ コンクリートの基礎がありますか
- ⑤ ひび割れ、傾き、ぐらつきなどが有りませんか



既設の塀の安全点検について(可児市)



建築物の既設の塀(ブロック塀や組積造の塀)の安全点検について(国土交通省)



出典:国土交通省ホームページ

出典:日本建築防災協会パンフレット「地震からわが家を守ろう」から引用・加筆

今回は家屋などの耐震対策についてご紹介しました。家屋の倒壊はもちろんのことブロック塀の倒壊も時に人命に直結するものです。旧基準の家屋やブロック塀が必ずしも危険という訳ではありませんが、この機会に、耐震について点検・検討されませんか。建て替えやリフォームの際には、家屋だけでなく、外構の耐震対策もお忘れなく。

### 一口メモ

可児市には、ブロック塀等を撤去する費用を補助する「ブロック塀等撤去費補助金交付制度」があります。市の予算の制約もあります。詳しくは可児市建築指導課までお問い合わせ下さい。



ブロック塀等撤去費補助金交付制度(掲載時点をご確認下さい。)